

日本初セーフコミュニティ認証都市

セーフコミュニティ かめおか



けがや事故を予防しよう

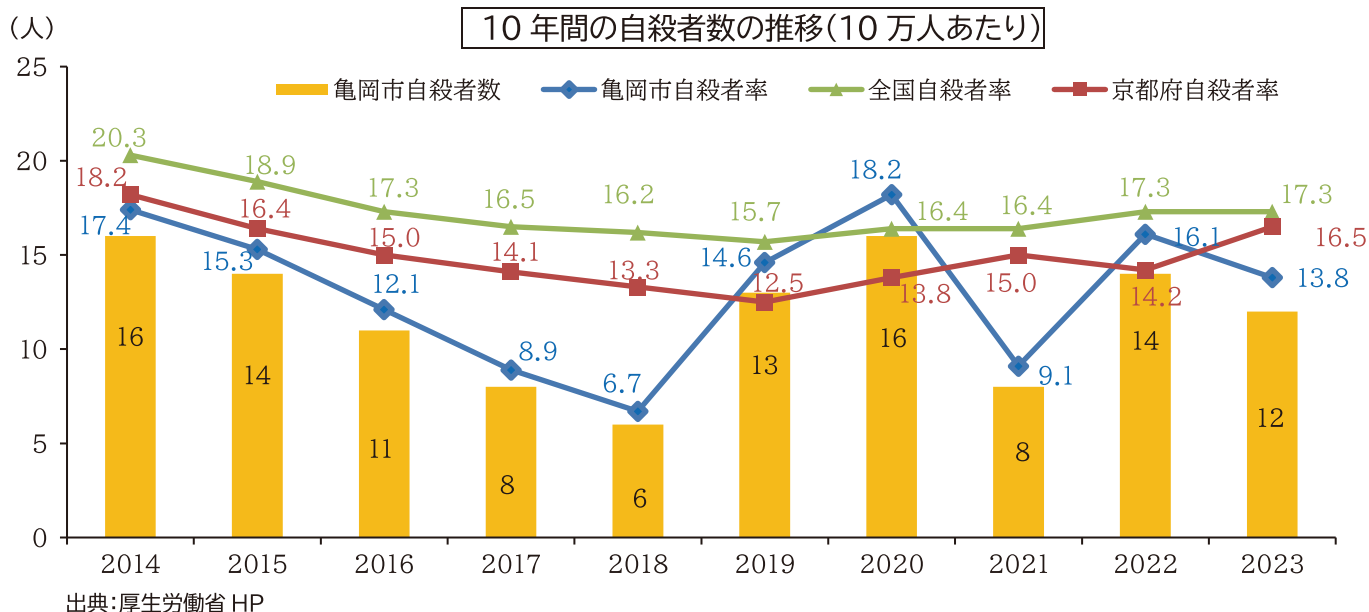
Vol. 46 令和6年8月号

セーフコミュニティとは、「けがや事故は偶然の結果ではなく予防できる」という観点から市民の皆さまと行政機関などが協働して安全・安心に暮らせるまちをつくる取り組みです。

亀岡市では、「スポーツの安全」「自殺対策」「高齢者の安全」「乳幼児の安全」「交通安全」「防犯」「防災」の7つの対策委員会を設置し、安全・安心なまちを目指しています。

第2期亀岡市自殺対策計画におけるセーフコミュニティ自殺対策委員会の取組について

本市の自殺対策の取組は、セーフコミュニティ自殺対策委員会のネットワークを活かし、行政と市民団体、関係機関が協働で推進しています。また、市の行政計画である自殺対策計画の策定についても、自殺対策委員会が積極的に関わり、これまでの取組や各委員の専門的な意見を基に取り組むべき事業等について提言を行い、平成31年3月に第1期計画、そして令和6年3月に第2期計画が策定されました。自殺対策委員会は、計画策定にあたっての意見集約や提言、また計画推進においては取組検証を行う機関としての役割を担うと共に、計画を推進するため、相談窓口の周知やメンタルヘルス対策等の啓発、自殺の背景にある様々な課題を解決するための支援に取り組んでいます。

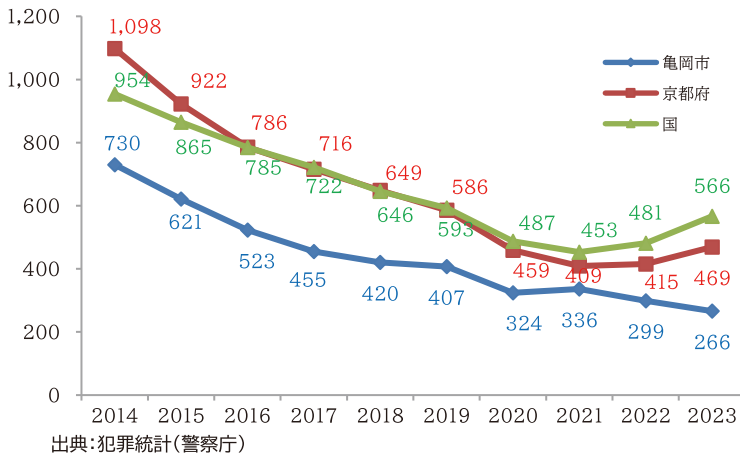


対策の1つ:ゲートキーパー研修

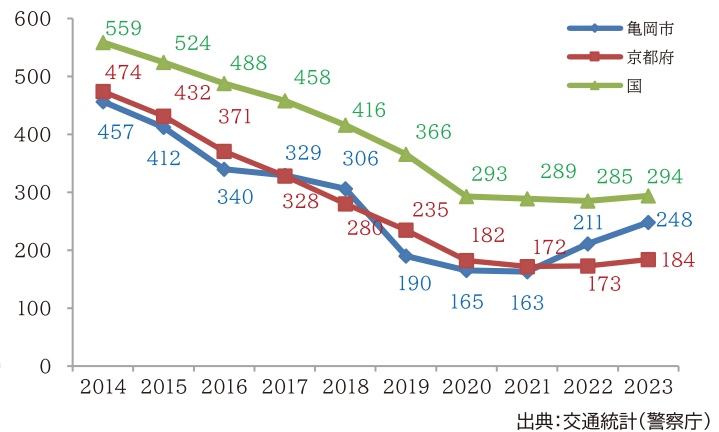
ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気づき、話を聞いて、支援に繋げ、見守る人のことを言います。研修会では、基礎研修及びステップアップ研修を実施しており、自殺対策委員会で内容を検討したり、委員が講師を務めたりしています。

セーフコミュニティ～安全・安心な道への成果～

(件) 10年間の刑法犯認知件数の推移(10万人あたり)



(件) 10年間の交通事故負傷者数の推移(10万人あたり)



【市民参加型プロジェクト】ボランティア大募集

亀岡市では、車のドライブレコーダーをまちの見守りに活用する**かめおか「まち・レコ」プロジェクト**や制限速度を守り安全運転に取り組む**かめおか「セーフティドライブ」プロジェクト**を進めています。

ご参加いただける方には、車に貼るマグネットまたはステッカーを渡しており、大小いずれかのサイズを選んでいただけるようになっております。(サイズ大:直径14cm、小:直径7.5cm)

いずれも特別なことをしていただく必要はなく、いつも通りに亀岡市内を走行していただくだけで気軽に取り組める活動となっております。



かめおか『まち・レコプロジェクト』とは！？

- ・市民みなさんの車に搭載されている車載録画装置「ドライブレコーダー」を「動く防犯カメラ」として活用し、みんなでまちの見守り体制を強化する取り組みです。
- ・事故や事件が発生した時には、その付近を走行していた車両の映像を警察に提供いただくことで早期解決を図ります。(登録台数:2023年度末時点で467台)



活動内容

- ・亀岡市内で犯罪・交通事故が発生し、亀岡警察署からドライブレコーダーの映像提供依頼があった場合は、映像の提供を行う。
- ・犯罪・交通事故現場に居合わせたとき、速やかに亀岡警察署へ通報を行うとともに、亀岡警察署から映像提供依頼があった場合は、映像の提供を行う。



かめおか『セーフティドライブプロジェクト』とは！？

- ・日常生活の中で車を運転する際に、決められた速度や交通ルールを守り安全走行をしていただくことで安全安心のネットワークを広げ、交通事故「ゼロ」を目指す取り組みです。

(登録台数:2023年度末時点で544台)



活動内動

- ・適切な速度や交通ルールを守り、安全運転を心がける。
- ・亀岡市内で運転する際に、所定のシンボルマークを車両後部に貼り、走行する。

【申請方法】 各種QRコードをお手元のスマートフォンで読み取っていただくか、
亀岡市役所 自治防災課 6階2番窓口までお尋ねください。